

### 旭化成アドバンス

## ストレッチ素材に広がり

### 6月8、9日に展示会

旭化成アドバンスは2016年度のストレッチ

素材販売で素材バリエーションを広げた提案を強化する。6月8、9日に代官山ヒルサイドテラスアネックスA棟(東京都渋谷区)で開く「モータープレミアム17春夏・17-18秋冬」展では、経編み、織物、丸編み生地開発を強化。ストレッチ素材を軸に「ロイヤル」を軸にストレッチ素材全般を紹介する。キュプラ繊維「ベンベルク」など旭化成の独自素材を活用したモノ作りで差別化を図る。

国内生産品を中心に経編み約100点、織物約60点、丸編み10点、製品約70点を出展。アパレルや商社との取り組みに力を入れる。とくにベンベルク高混率のモノ作りが今期のストレッチ素材開発で注力分野の一つで、旭化成の独自素材を活用したモノ作りを強化する。

染工場との取り組みを深め、長繊維使い、短繊維使いをそろえ経編み素材でバリエーションを提案する。

織物調経編みで天然素材複合の「エラシック」も前期、パンツ用途で好評だったことから拡充する。麻、綿混やベンベルク混を加えるとともに、薄地品を新たに開発してシャツでの採用を狙う。

市場トレンドを念頭に置いた提案では、エコ素材の打ち出しを強める。

今月、日本販売を始めたリサイクル原料タイプの「ロイヤルE」使いの素材を披露。リサイクル製品での再生材料の量やトレーサビリティを公的に裏付ける認証プログラム「グロバール・リサイクル」を披露。リサイクル製品での再生材料の量やトレーサビリティを公的に裏付ける認証プログラム「グロバール・リサイクル」を披露。

西川リビングは24日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で「西川創業450年感謝の会」を開いた。取引先をはじめ、元超が集って盛大に催された。

西川リビングは24日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で「西川創業450年感謝の会」を開いた。取引先をはじめ、元超が集って盛大に催された。

西川リビングは24日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で「西川創業450年感謝の会」を開いた。取引先をはじめ、元超が集って盛大に催された。

### PTJ17春夏会場から

24日に開幕したPTJ17春夏の会場には産地企業、生地商社を中心にこだわりの商品が並ぶ。その一部を紹介する。

(2面参照)

## 糸、織り、加工で差別化 織物短繊維ゾーン

春夏が対象シーズンとすることもあり、織物短繊維のゾーンにはゾーン別で最大の37社が出展。各産地の特色を生かした



打ち出しや、商社ならではの産地の垣根を越えたモノ作りが見られた。生地商社の川越政は今

高島産地の機械、杉岡織布はこれまで「集大成」と今回展を位置づけ、過去3年間の開発素材を集結させた。顧客の要望が多かったため初の試みとして投入したのが経糸にオーガニックコット

回、自然なソフト感、膨らみ感が特徴の「エアリアルフレックス」、バイオ加工、反撥樹脂加工、解熱ワッシャー加工という3つの加工を施し、膨らみ感と独特の落ち感、反撥感に秀でる「バイオロジック」という2つの加工を提案の主軸に据えた。ピックアップも多く、成約に期待が持てるという。

綿など主体に独自性発揮 染色加工ゾーン 染色加工ゾーンでは、独自性のある素材が目立った。春夏とあって綿や麻使いを主体に、自社ならではの染色技法やプリントと加工を掛け合わせたいものが存在感を出す。出展回数10回以上です。山陽染工は

足元で人気 足元で人気 足元で人気

アラビア 登録1924年